



2010年 7月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーぱー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ちいきみっちやくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



- ✎ [作家 鶴島緋沙子の もぐらの目 14] 「追っかけて恋」♪
- ✎ [サークル紹介] 「エッセイサークル文文へのお誘い」♪
- ✎ [簡単クッキング] チョコビーンズ & 黒ごまアイス♪
- ✎ [ファミリーポートのイベント] 街を作ろう！ サンドアートで思いっきり砂遊び♪

休
日
は
OFF



- ✎ [連載コラム] かおりのひとりごと♪ 「自己流で」
- ✎ [ブログ連動連載] 言いたい放題！アッキー28号
- 「共に歩めば、街はメルヘン」♪
- ✎ イベント/サークル情報 ✎ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net
TEL: 070-5653-6913(渡辺) FAX: 020-4665-8668
郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

「もぐらの目」 十四 「追っかけて恋」

鶴島緋沙子

ある朝、目覚めると、視界が青と緑に変わって
いて今年も夏がやってきた。

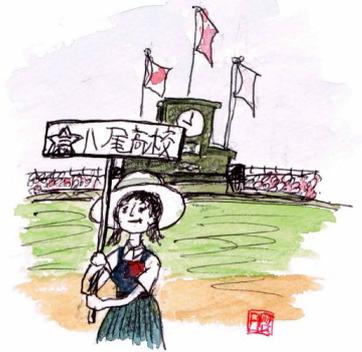
昔々その又昔、一九五二年（昭和二十七年）の
その季節、私は、新制高校の二年生だった。当時
はまだ県立高校がなく、兵庫県西宮市立女学校が、
そのまま男女共学の新制高校になり、私は、西宮
市立高校と名前を変えたその学校に進学した。

スポーツに関心のない人でも、毎年、真夏の甲
子園球場で繰り広げられる全国高校野球の存在ぐ
らいはご承知だろうと思うが、私にとっては半世
紀以上を経た今も、観衆のどよめきの真っ只中で、
その年、大阪代表として出場した府立八尾高校の
プラカードを掲げて入場行進した感激は忘れられ
るものではない。

ファンファーレの音が、球場一杯に響き渡る、
その時の胸が裂けるような緊張感。北から順番に

鶴島緋沙子さんは、山田洋次
監督の映画「学校Ⅲ」の原作と
なった「トミーの夕陽」や、「私
の中の瀬戸内寂聴」（いずれも、
つげ書房新社刊）などの作品で
知られる枚方市在住の作家です
が、「自閉症」の息子さんの母親
であり、「枚方自閉症児(者)親の
会」の代表です。「もぐらの目」
は、隔月連載の予定です。お楽
しみに。 [LIP編集部]

南下してくる各校
の選手団。その先
頭に立って校名の
入ったプラカード
を掲げる西宮高校
の女生徒達。丁度
真ん中あたりに行
進する地元高校の
出場とあって私が
一歩ゲートから足



を踏み出したとたん、銀傘にさだましたときわ
高鳴る何万人もの大歓声。

真っ白なブラウスに濃紺のジャンパースカート。
胸に付けた真っ赤な薔薇。頭には鍔広の帽子。こ
のスタイルは二〇一〇年、今年の夏も変わるこ
ではない。違うのは、プラカードガールの選考方法
である。今や何倍もの応募生徒の中からモデルの
世界勝負の厳しいオーディションがあると聞く。
しかし当時は、先生から、すらい(?)と背の高
い女の子の何人かが呼ばれて球場でのリハーサル
に参加せよと突然言われる。降り立つと、気の遠
くなるような広い広い球場の片隅に、参加校全部
のプラカードが円く並べられ、その前に無造作に
生徒達が立ち、気が付けば私の前に大阪代表八尾
高校のプラカードがあったというわけだ。その頃
の私は、少々、ニヒルぶった生意気文学少女だっ
たので、野球の試合なんかは何の意味があるの、
なんて、何の謂われもなく思っていたものだ。

それが、真っ黒な顔に白いユニホームの逞しい
選手たちの先頭に立った途端、一挙に私の中の何
かが弾け、その年の優勝争いが地元同士、八尾高

校と兵庫県代表芦屋高校だったこともあって、連
日宿舎へ電話をかけ、応援に精を出したのだ。ち
なみにその時の主将、本橋さんは、近年まで審判
として活躍され、木村投手や、優勝した芦屋高校
の植村投手、名二塁手だった元屋敷選手は、それ
ぞれプロ野球史にその名を残されている。

ミンミンからが、恋の本番である。東京代表だった
日大二校のピッチャーWさん。ハンサムでけっこ
う名の通った選手だった。その日大二校のプラカ
ードを持ったのが、演劇部で鳴らしていた美人の
Sさん。彼女が、敗退して帰京する彼を追ったと
聞いたのは、二学期が始まり秋風の立ち始めた九
月。

それ以来、学校でSさんの姿を見ることはな
かった。

その後何年も経って、Sさんと親しくしていた
Aさんと二人で、しばらくW選手と同棲していた
という噂のSさんを、東京信濃町のマンションに
訪ねた事があった。

多くを語らず、お茶を点ててくれる彼女の白い
横顔は、あの夏の終わり、私たちの口を賑わした
華やかで艶っぽい話とは裏腹にどこか寂し気だっ
た。

Sさんが亡くなった
と、風の便りが知らせ
てくれたのは、それか
ら更に何年か経ってか
らだった。



吾輩はエッセイサークル文文の会員である。名前は……まあいい。今日はエッセイサークル文文（以下、文文）について少し語ろう。

発足は平成6年。ということは、もう16年になるのか。道理で吾輩も歳をとるはずだ。枚方在住の詩人福田万里子先生による文章講座終了後、有志が立ち上げた作文サークルである。毎

締切がムチ代わりで丁度良い。自信作、感動作、迷作がまな板に上る。合評会は和やかだけれど、真剣勝負だ。作品の評をすることで、鑑賞能力も高まる。書く力と味わう力の両方備われば、鬼に金棒だ。文の一節から話が盛り上がり、あらぬ方向へ脱線することも偶にある。だが、迷走が過ぎると、先生が手綱を握り直してくれる。

～エッセイサークル文文へのお誘い～

月第三金曜の午後、メセナひらかたに集い、文章創作の腕を磨いている。今は女性6名に男性3名、40代から80代までのメンバーである。



一番の新人は80代のTさん。手紙しか書いたことがないTさんがペンを執ったのは、戦争体験を伝えるためである。昨年の文集『碧 (ao)』には、満州からの壮絶な引揚げ体験を寄せた。多くの人に読んで欲しいという気概で、原稿用紙8枚を超す文を一気に書き上げたという。いつも猫背の吾輩も、姿勢を正して読ませてもらった。

4月から講師を務めているのは徳田誠先生。今は奇数月のみだが、出席月はみっちりきっちりと指導して下さる。長年の修行の成果で、仲間同士の批評も板についてきたが、やはり先生には敵わない。的確な指摘とわかりやすい指導に、一同「うーん、なるほど」と膝を打つ。この先生に学べば、数年後はどんなに上手くなっているだろう。末は随筆家か芥川賞か。期待に胸が膨らむ。

涙あり爆笑ありの合評会がまた楽しい。一人でも書くことはできる。でも、仲間がいると励みになる。他人様にお見せするからには、文にも気合いが入る。毎月の合評会に向けて宿題を仕上げる感覚だ。怠け者の吾輩には、月一回の

書く目的は十人十色。日々の記録にストレス解消、ボケ防止など、さまざまだ。自分史をまとめ、出版した仲間もいる。もちろん、文にするだけで達成感がある。自己内面のモヤモヤを形にして、みんなに共感してもらえたときの気持ち良さといったら。これをお読みの諸君、いや皆様には是非経験して欲しいものだ。

わが文文は会員募集中である。まずは、どしどし見学に来たれ。問い合わせ窓口は、文文が一番優しいという評判の、Iさんである。どうぞお気軽に。
文：中島恵梨子（文文会員）

□エッセイサークル文文例会ご案内□

毎月第三金曜午後1時～

メセナひらかた3階

入会費千円・月会費千円

見学随時OK、入会熱烈歓迎

代表者 熊川 Tel 072-853-0150

連絡先 岩さ Tel 072-856-3277

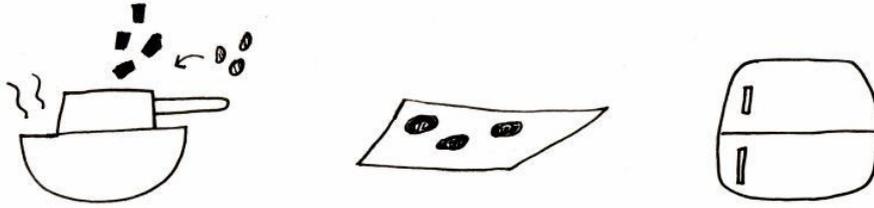
□講師プロフィール□

徳田誠氏 67歳 同人誌『八月の群れ』の編集委員に長年携わる。

エッセイ〈叢〉の現講師

平成22年度生きがい創造学園エッセイ入門講座講師

簡単クッキング チョコビーンズ & 黒ごまアイス

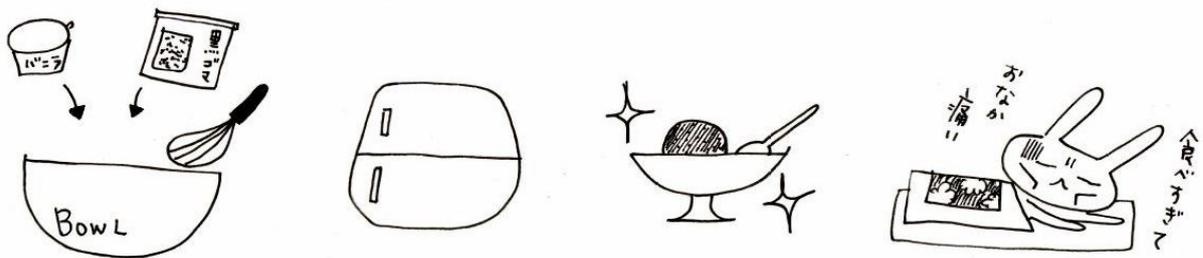


コーヒー豆で「チョコビーンズ」を試作してみました。

- (1) 安い板チョコを湯煎して溶かす。
- (2) その中へ、焙煎したコーヒー豆を適量に入れる。
- (3) チョコがたっぷり付いた豆を、クッキングシートの上に、ひとつずつ並べる。
- (4) クッキングシートごと冷蔵庫に入れて冷やす。

これで完成。

途中でめんどくさくなって、何個かかたまりのままのものを作ってみました。
これでも十分。ほま、思っていたようなお菓子になりました♪ 大成功。



調子に乗って、以前、お友達ちのジュンペーちゃんに教えてもらった「黒ゴマアイス」も作ってみました。

- (1) 安いバニラアイスを買ってくる。(スーパーカップとか)
- (2) アイスをボールに取り出し、黒ゴマのすりごまを適量に入れる。
- (3) 均等に混ぜるまで混ぜる。
- (4) 冷凍庫で冷やす。

これで完成♪ これも低予算で美味しくできました。

ここで、ん！ とヒラメキ♪

黒ゴマのかわりに挽いたコーヒー豆をつかったらどうだろう。

材料がそろっていたので、さっそくやってみました。

- (1) 安いバニラアイスをボールに取り出す。(あくまでクープサにこだわる。汗)
- (2) コーヒー豆を挽く。
- (3) 均等に混ぜるまで混ぜる。
- (4) 冷凍庫で冷やす。

これでどうでしょうか？ ちょっとドキドキして食べてみると、これもまた美味しい♪
うちは粗挽きなので、ちょっとポリポリと歯ごたえがあったり。。

絵：宮地なおみ 文：わたなべ

枚方の招堤にあるファミリーポートひらかた。2008年の5月号でも、イベント「カプラで遊ぼう」の様子が掲載されてもらいました。今回は6月20日、ファミリーポートひらかたで行われた「サンドアート」の様子をお届けします。

「サンドアート」と聞いてみなさんはどのようなイメージをもたれますか？ 僕は全く調べずに、砂で絵を描くものだと思い込んで当日取材に行ったのですが、イメージとは大違いで、たくさんの砂と、型を使って、山を作ったり、建物を作ったりするものでした。札幌の雪まつりのようなイメージでいいと思います。

この日のテーマは「街を作ろう」で、集まった約30人の子どもたちは、5つのグループに分かれ、相談しながらビルを作ったり、川を作っ



が、その感想文を見ると「楽しかった」「またやりたい」など子どもたちも満足していたようです。

ファミリーポートのスタッフ田邊さんは、「こ

街を作ろう！

サンドアートで思いっきり砂遊び♪

てそこに水を流したりして楽しんでいました。この日は朝から曇り空で蒸し暑く、子どもたちも元気がないんじゃないかと思ったのですが、子どもは凄いです。始まる直前まで「暑い」「しんどい」と言っていた子どもたちもいざ始まると、暑さも忘れ熱心に砂と格闘していました。途中、雨も降ってきて屋内に避難する場面もあったのですが、雨が小降りになってくると子どもたちは再び砂と格闘して楽しんでいました。



こには学年も、ましてや学校も違う子どもたちが集まっているけど、めったに喧嘩は起きない。イベントの参加は強制ではないし、好きなイベントのある日だけ来ることもできるのでみんな楽しそう」と話していました。ファミリーポート

がきっかけで仲良くなる子どもたちもいるそうで、学校だけではなくこのような形で仲良くなるのは地域の交流にもなるのではないかと思います。イベントに参加するにはファミリーポートに電話をして申し込みをするだけでいいそうです。今後もいろいろなイベントが行われるようなのでみなさんも一度、ファミリーポートのホームページをチェックしてみたいでしょう。

✎ 生熊（LIP編集部）

今回、サンドアートを指導していたのは、同志社女子大学に通う大学生3人。3人のうち1人がファミリーポートでボランティアをしていたのと、大学で砂場の研究をしている先生に出会ったのがきっかけで、今回のイベントを行うことになったようです。中心になって子どもたちと接していた井上さんは「このようなイベントは初めてで、緊張したけど楽しかった」と話していました。サンドアートが終わってから子どもたちに感想文を書いてもらっていたのです

ファミリーポートひらかた
枚方市招提南町 2-50-1 TEL 072-850-4400
<http://familyport.jp/>
受付時間 月火木金 10～17時 土 10～15時

かおりのひとりごと かおりのひとりごと

<http://kaori-essay.seesaa.net/>

野添かおり 枚方市在住。神経難病脊髄小脳変性症の疑いにより、17歳の頃より車椅子生活。独自の感性によるたとえで言葉を紡ぎ、鋭いながらも柔らかさをもって斬り込むことを目指す。世の中を、そして自分自身を。

「自己流で」

障害病気あろうとも、たとえ車椅子で自由に動くことができなくても女は女。

姿勢好どうでもいいことなんてない。少しでもきれいでいたい。それを諦めたくなんてない。

「歩けない足してないよね。」それは看護師にも言われたこと。それは褒める意味でもあるのだろう。でも「本当は歩けるんじゃない？」

そんなひがみの誤解を受け落ち込んだことも何度もある。

歩かないと筋肉が痩せ、足は細くなる。腰も硬くなり、くびれのない寸胴な体になってしまふ。

なのに私はそうなっていないから。見た目歩けない体してないから。だから誤解をされる。そういうリハビリしてないのにあり得ないって。でもね。

先に書いたように私も女で、姿勢好どうでもいゝなんて思っていない。

幸い私の病気は、歩く等の平衡神経の伝達がでないから歩けないだけのこと。筋肉が動かない訳じゃない。

だから集中すれば微妙に運動することができ。腰を反らせる運動を手伝ってもらって硬くなるのを防いでいるしね。

病気があることはそれだけでしょんどのい。でもそれがどうした？ 私は私の自己流のやり方で女を守っていく。

ブログ連動連載

言いたい放題！アッキー28号

～高校に行きたいねん！ 障害生徒の「お受験」編～

2010/06/25 共に歩めば、街はメルヘン♪

自閉症の息子、かわいらしい幼稚園バスを見たら、ふらふら〜と寄っていく「誘惑」に時々負けそうになる。そこで、幼稚園バスとの遭遇を避けて、「時差通学」。

早出二日目の今朝は、ワールドカップ・サッカー、デンマークとの3-1の勝利で、決勝進出決定！のNHKニュースをしっかりと親子三人で見てから。「Tちゃん、四年に一度のサッカーの世界的祭典。しかも、勝利の瞬間の映像なんて、なかなか見れないよー。はい、じゃ、玄関の鍵、昨日入れた通学かばんのポケットから出して。鍵かけてねー！」

「一人外出」「一人帰宅」に備えて、鍵の管理・扱いも、この際覚えてもらいましょー。
「雨が上がってて、よかったわー。自転車、今日も使えるわー。ほいほい、一緒に歩いて行こうよー。母、自転車押してくから」

7時13分自宅出発。7時半の中学校開門には、絶対大丈夫（それより先に着くことはあり得ない）。

ちょっとのんびり半時間かけて歩くとちょうどいいけど、でもでも、40分以上時間をかけると、中学校の前で、U幼稚園やKK幼稚園のバスに出会っちゃうぞ。

ま、いー。それまでには、行けるでしょー。とゆーわけで、今日もぼこぼこ。

犬を連れての散歩の人と通勤通学の人が見在、朝の緊張感とのんびり感がほどよく感じられる時間帯に、息子と一緒に、中学校までの道をたどりました。

「おじーさん、こけたー。ころけたー」半年前の自宅の前での出来事を繰り返し思い出して語る息子。

「救急車来たー。パトカーのおまわりさん、来たー」 「おじーさん、どこでこ

【アッキー自己紹介】 自閉症の上の子は、中学三年生。卒業後の進路をこれから決めねばなりません。いそいそ楽しく、彼なりの学びを豊かにするには、どんな学校に行けばいいの？ いや、行けるの？ 今日親で「泣き笑い」。どうぞ応援ください〜！

けたー？ 救急車におじーさん乗ってたー？」 「へへへへ。おじーさん、こけたー」 「おばーさん、こけたー」 「おじーさん」

延々とそんな感じで言葉遊びにつき合おうと、きりりっ、うれしそうな息子の笑顔。

「満月ー」

「明日の夜、月食やでー。月がなあー、欠けた状態で東の空からあがってきます。すごいな。怖いな。わあー、なんで、満月欠けてんねんー。昔の人、怖かったやろーな。あ、でも、明日大雨やて。見られへんよな、残念〜。あ、紫陽花や。お寺の下のあじさい、きれいやな。わーい、あじさいさん、おはよー。いつもきれいやね。 (あじさいの花をなでなで)」

「……」

時々行き交う人の目が笑ってる。

⇒⇒⇒ 続きを読む... <http://zz.tc/akkie>

イベント・サークル・ボランティア情報

【参加者募集】 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」 <子ども参加イベント・夏休みお仕事体験>

夏休みのタベ、お友達と一緒に、「お仕事体験」してみませんか？ サプリ村野で、『LIP』の印刷折込の作業を、お手伝いします。

- 日時：7月31日(土) 午後5時集合 午後7時半解散
- 場所：むらかたNPOセンター 一階 会議室「ふらっと」 (サプリ村野内)
- 対象：「お仕事体験」をしたいと思う18歳までの子ども
- 参加費：無料 ■持ち物：おにぎりとお茶 ■定員：10人 (定員になり次第しめきります)

<プログラム>

- ◆午後5時～ みんなで軽食 (おにぎりとお茶を持参ください)
- ◆交流タイム
 - 6時～ お仕事体験 (約1時間)
 - 7時ごろ～ 作業が早く終われば、みんなでゲームなどを楽しみましょう
 - 7時半 解散

※問合せ・申込み先： c-k@love-dugong.net または、090-5893-5635 (とよたか)

■受付期間：7月15日～7月24日

■主催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

*お迎えは、必ず解散時間に保護者がお越しください。*お子さん一人での参加が難しい場合は、保護者の方も一緒に参加ください。

第4回「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会 「みんなといっしょに高校へ行きたい！」

本当に点が取れなくても公立の高校にいけるの？
「知的障害生徒自立支援コース」ってなに？
「共生推進教室」って、どんなところ？
倍率は？ 選考基準は？ 筆記テストもあるの？ ウチの子どもはどうか？

受験時の配慮って、どんな配慮がしてもらえるの？
「いまさら聞けない疑問」にもていねいにお答えします。

- 日時：7月19日(月) 午後2時～5時
- 場所：寝屋川市民会館会議室 (京阪寝屋川市駅下車、東へ徒歩10分)
- 内容：高校受験の実際、制度はどうか、情報を知って進路を決めよう！
- 参加費：無料
- 主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会
- ※問い合わせ：南森072-852-3465、松森090-1960-3469
FAX 06-6933-3157

【参加者募集】 アル問会 7月 <定例会>

枚方アルコール関連問題を考える会 (略称：アル問会) は枚方地域の市民活動団体です。アルコール関連問題を学習されたい方ならば、どなたでも参加できます。一般市民、アルコール依存症からの回復者、介護関係者、行政関係者、病院関係者、市議会議員、学生、宗教関係者、多彩な方々が参加されています。

- 日時 7月8日(木) 18時30分～20時30分
- 話題提供者 枚方市地域包括支援センター
大阪高齢者生協 社会福祉士 深田 円 氏
- 参加費用 100円
- 場所 枚方市地域包括支援センター みどり
枚方市岡東町17-31-201 松葉ビル TEL 072-845-2000
- <今後の定例会予定>
(会場が変更になる予定です)
- 8/12(木) 西川社労士事務所 西川収和 氏
連絡先 090-5167-4600 (医療ソーシャルワーカー 菊地)
- * 詳細は上記連絡先まで、お気軽にお問い合わせください。

「龍馬伝」の京都 NHK大河ドラマ「龍馬伝」放映記念 龍馬の史跡を巡る京都ラン

「龍馬伝」の人氣にあやかり、龍馬 (江戸末期から明治初期) の足跡を駆け抜けてみませんか。
色々な歴史が長い間繰り広げられ、多くの史跡が現存する京都です。その、奥深い京都で近代日本を意識し始めた時代の勤皇の志士、いや開国の志士達が歩んだところを自転車で走り抜きましょう。

- 主催：サイクルボランティア・ジャパン (CVJ)
- 開催日：2010/8/8 (日) 8時30分 (スタート9時00分)
- 京都駅正面南口集合 (中書島 (9:40出発) から参加も可能。その場合は申し込み時に表明してください。)
- 解散：京都駅。午後5時ごろ
- 問い合わせ先：西川正樹 m.nishikawa@hachiden.co.jp ■定員：30名。高校生以上。(未満は保護者同伴)
- 参加費：1000円 (保険、資料) (交通費・昼食・などの実費は自己負担願います)
- コース：約45キロ (ほぼ全コース舗装)

私たちは、枚方・寝屋川を中心に子どもから大人まで世代を超えて、様々な活動をしている『みんなでつくる学校 とれぶりんか』という仲間です。

月一回 (第2日曜日)、チャレンジショップを借りて楽しいイベントを企画したり、わんわんコミュニティを開催しますので、興味のある人もない人も一度のぞきにきてください。



場所：とつりゃんせチャレンジショップ
(寝屋川市・大利神出近く)
毎月 第2日曜日に開催します (^_^)

7月は11日に開催です♪
8月は22日に開催です♪

わんわんコミュニティ

☆わんちゃんに関する情報交換の場☆

犬について みんなで考えたり、ふれあいながら 話をしたり
遊んだり お茶を飲みながら 楽しい時間を過ごしませんか？

時間：11:00～12:00 (受付10:30)

※終了後、13:00までフリー交流タイム

※まずは飼い主さんのみの参加でよろしくお願います。

参加費：300円 (ドリンク付き)

問合せ先：090-2592-3594 (原)

ちっちゃなえんいち

☆みんなのえんいち・みんなの居場所☆

いろいろな人が、小さな企画から自分の持っている力を発揮して、みんなと楽しめるように工夫しています。仲間作りが苦手な人もここへ来るとなんとなく居場所がある空間を目指します。

時間：13:30～15:00

えんいちで一緒にお店を出してみませんか？

1テーブル…500円

問合せ先：090-4908-3110 (大町)

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

枚方市

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招道南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティーカフェ ラテール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤルム [南楠葉 1丁目 2-16 くずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ たこやき・おこのみ けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデザインハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 補薬店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアサロンかわむら [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel(スクワール) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぷらざB1F 072-843-8114]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアスタジオほべほ [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 食育ステーションまきの [枚野本町 2丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰南町 1丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ 紅茶専門店VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上一丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん [大峰元町 1-1-1 072-858-8565]
- ★ エステのお店 ジョセフィン [枚野南 1-23-5 枚野南町デパート 2F 072-851-8727]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・メディア [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤阪天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ ミュージック・ケアハウス「花音」 [川原町 3-1 クラウンビル4階 072-841-8822]
- ★ たかほま歯科医院 [津田駅前 2丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 満潮ベーカリー補薬店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くこみ会「清水園」 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ピーコ [枚野南 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚野南 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野南 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ NPO法人 パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぼひるす [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ ぶらっとホーム・すかほらひかし [藤阪東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ Live Space むじやき [新町 1-3-17 2F 京阪キャズ協会内 072-396-6286]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこ」 [楠葉野田 2-30-8 080-4078-2802]
- ★ スパレイ枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ 本とカフェ Benedetta [町楠葉 1-6-25 寺山ビル2F 080-6115-8133]

ハートネットは引越しました！

いつも応援ありがとうございます！

LIP 応援団

NPO 法人 りりあん 多田よりこさん
松村宣彦さん / 山田光一さん
佐藤信江さん / 手塚隆寛さん

LIPを継続して発行していくために、LIP応援団を作りました。一口2000円です。応援団員には以下の特典があります。

★LIP裏表紙に応援団員のお名前掲載！(希望者のみ。匿名可です)

★LIPの郵送サービスします！

1口で1年間郵送します。

(希望者のみ。複数部数も歓迎です)

■郵便振替 0920-8-120259 (LIP編集局)

■連絡先: lip@love-dugong.net

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
28873	前号から繰り越し
500	縮刷版2009売上げ
2160	共に学ぶ連載小冊子売上げ
1	銀行利子
10000	応援団
▼3000	NPOセンター会費
▼2480	郵送代
▼5280	6月号印刷代
30774	計(次号へ繰り越し)

そのほか

- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュベーカーリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ 寝屋川市立ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里路店 1F 072-835-3335]
- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ たこやき屋 中角 [交野市倉治3丁目 52-1 072-891-4022]
- ★ レストラン ジュリア [交野市私部3丁目 11-3-2 072-891-2288]
- ★ NPO法人 ゆいむ(結夢) [交野市私部7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ 作業所クローバー [交野市私部5丁目 9-3 072-894-4822]
- ★ えんでら村作業所 [交野市天野が原町2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部1丁目 1-1]
- ★ きさい植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]
- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田郷戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市敬明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]

移動配布所

- ★ ファンバルクイナ音楽隊 一歩前出張音楽隊 [funbal@mail.goo.ne.jp 090-6055-8312]

★LIPではゆうちょ銀行の振替口座を使っています。現時点ではATMを使うと、ゆうちょ銀行口座間の送金は無料だということは知っていたのですが、同じようにして振替口座にも手数料無料で送金できることを最近知りました。総合口座も振替口座も口座には違いがないということのようです。ということで、ゆうちょ銀行の預金通帳を持っていたら、郵便局まで行かなくてもATMからLIPへも送金できます♪ (これが言いたかった。あせ) 応援団をよろしくです。

★LIPは市民が発信し市民が読む情報紙をめざしています。

ご意見・感想・投稿など、いつでもお待ちしています♪

lip@love-dugong.net あてに感想などいただけると、とてもうれしいです。(w)

表紙下段イラスト：平井由恵